

『あいさつで、できること』

小城市立岩松小学校 6年 ^{いわ}岩 ^{もと}本 ^{ゆず}柚 ^か香

わたしは、「あいさつ」のことを考えて、少しでも社会が明るくなればなと思いました。

あいさつは、したりされたりするととても心がうれしくなります。その気持ちは、多くの人が持っているのではないかなと思いました。それは、私も家族のみんなもあいさつをされなかったら、あまり気持ちがいい感じはしなかったからです。

あいさつは、自分の存在を知らせることにもなると思います。朝、友達に「おはよう」とあいさつをしたら一日中仲良くすごすことが多いです。

お母さんは、朝から夕方まで仕事をしています。朝、人とあったときには「おはようございます。」と言い、仕事が終わって帰る前に「おつかれさまです。」と言い、今日の仕事にかかわった人と話して帰るそうです。その、会話は、ときどき元気になる言葉だったり、はげましの言葉にもなるそうです。私も、友達との会話で元気づけられたり、はげまされたりします。

毎朝、通学路を通っていると、地いきの方々といきの方々のあいさつをします。地いきの方々も、うれしい気持ちになるときがあるのかな？と思うときがあります。

私は、習い事で剣道をしています。週に三回から四回行くところは、ちがう小学校の子どもが集まっています。また、土曜日のけいこは、佐賀県の選ばれた人達が集まります。一番初めの練習のときはきんちょうしていて他の人とはあまり話しませんでした。けれど二回目や三回目の練習では、他の人に話しかけることはできていました。その時間がとても楽しかったので、きつい練習のときやいやだなと思うときもあったけど、仲が良い人もいたので練習もいやになりませんでした。

土、日曜日に試合があるときがあります。来たことがないところは少し不安でした。でも、知っている人がいると、やる気が大きくなる時が多いです。

初めてあった人でも、たくさん話しかけてくれる人もいたし「おはよう。」の一言で終わってしまう人もいました。たくさん話しかけてくれる人は、私は、気軽に話しやすいなと思いました。

私の性格は、自分から話しかけるのが苦手な方だけです。私は、周りの人と話すことで楽しくなったり気分的におちこんだとき、助けられるときがあります。私がこの方法で助けられているのなら、私も、この方法で周りの人を楽しくさせたり助けてあげたり、楽しくさせたりできるのではないかな？と思いました。

かぎられた人だけそうするのではなくて、いろんな人と関わることによって助けてもらったり、助けたりする関係が増えると思います。また、そうしたらたくさんの方が楽しいことや、がんばれることも多くなるのではないかなと思います。これから私は、中学生、高校生もしかしたら大学生、そして社会人になります。そうして、かかわってくる人が変わっていくと思います。そのようになって助けて、助けられたりする関係を築いていけたらなと思います。

でも、これから関わる人の中には、私より人との会話が得意の人もあるだろうし、私以上に人との会話が苦手な人もいます。だけど話しかけられたり、あいさつをされたりしたら、うれしいので自分も少し努力をして周りを見て話しかけたり、気がけたりしようと思いました。

この関わりを築くには、まずあいさつをすることだと私は思いました。だから、会話が始まると思っています。話すきっかけになるあいさつは相手の目を見て、気持ちが伝わるようなあいさつをすることが大事だと思っています。あいさつに続く会話が相手をよく見ることによって困っていたり、さみしがっていたりする人が分かるかもしれないなと感じました。そして、自分がこまったときには、相手に助けてほしいとき自分の言葉で伝えて助けてもらうことが大切だなと感じました。

進んであいさつをすることは、とても大切なことでたった一言で言い表せるものです。その一言で相手を幸せな気持ちにできると思うので、これからも進んであいさつをすることをやめずに続けていきたいなと思いました。

その心がけを地いきの人全員、社会人の人全員が一人ひとりやればきっと、少しは、社会を明るくなるのではないかなと思っています。